



# しばた議会だより



心ひとつに  
さあ 出発だ!!

しばたまち白石川さくら回廊ボート体験会

■議会の新たな構成決まる	2
■2月定例会・21年度当初予算を可決	4・5
・図書館設置で附帯決議	5
・まちづくり基本条例を否決	10・11
・一般質問	14
■あなたの一言（高橋千尋さん）	20

# 議会の新たな構成決まる

議長に我妻弘国議員、副議長に白内恵美子議員

改選後の初議会となる第1回臨時議会が4月1日に開催され、議長、副議長をはじめ各委員会や仙南地域広域行政事務組合議員など新たな議会の構成が決まりましたので紹介します。

## ごあいさつ



議 長  
我 妻 弘 国

住民の代表機関の議会は、監視・調査機能・独自の政策立案機能などの強化が求められています。

議会が住民の負託にこたえるため、開かれた議会、自立した議会の実現に行動する必要があります。

現在、年1回の議会懇談会を実施していますが、議員定数を4名削減した分、地域との距離を縮めるには、年1回の懇談会では少ないと考えます。決算議会が終わった時点で問題になった事業や議員の一般質問などの説明をしながら、年2回の懇談会活動が必要と考えます。

まちづくり基本条例や議会基本条例・通年議会の導入など多くの問題を皆さんと議論し、議会改革に取り組んで参りたいと思います。

## ごあいさつ



副 議 長  
白 内 恵 美 子

私は、柴田町議会を住民に開かれた「討論の広場」へと大きく変えていきたいと思っています。討論するためには、調査・研究を十分に行い、住民の声に耳を傾けることが大切です。苦情や要望を待つのではなく、自ら課題を見つけ、住民が暮らしやすい町へと提案できる議会へ変えていくつもりです。

「議会基本条例」や「まちづくり基本条例」の制定へ向けて、早急に議員同士の討論が必要です。

私は柴田町議会を、住民に信頼され、期待される議会、開かれた議会へ変革するため、先頭に立って行動いたします。

## 文 教 厚 生 常 任 委 員 会



委員長  
加藤 克明  
(5 期目)



副委員長  
有賀 光子  
(2 期目)



平間奈緒美  
(1 期目)



安部 俊三  
(1 期目)



森 淑子  
(2 期目)



白内恵美子  
(3 期目)

## 総 務 常 任 委 員 会



委員長  
水戸 義裕  
(2 期目)



副委員長  
佐々木 守  
(1 期目)



佐々木裕子  
(1 期目)



舟山 彰  
(3 期目)



星 吉郎  
(4 期目)

### 議会選出監査委員

森 淑子

委員長  
副委員長  
委員  
大坂 三男  
水戸 義裕  
高橋たい子  
星 吉郎  
廣 真  
加藤 克明

### 議会運営委員会

委員長  
副委員長  
委員  
廣 真  
佐久間光洋  
平間奈緒美  
佐々木裕子  
高橋たい子  
安部 俊三  
佐々木 守

### 議会広報特別委員会

### 仙南地域広域行政事務組合議会議員

我妻 弘国  
大坂 三男

### 柴田町・村田町・大河原町合併協議会委員

我妻 弘国  
廣 真  
佐藤 輝雄

### 後期高齢者医療広域連合議会議員

水戸 義裕

### 1市3町保健医療組合議会議員

我妻 弘国  
白内恵美子  
星 吉郎

## 産 業 建 設 常 任 委 員 会



委員長  
広沢 真  
(2 期目)



副委員長  
高橋たい子  
(1 期目)



佐久間光洋  
(1 期目)



大坂 三男  
(2 期目)



佐藤 輝雄  
(3 期目)



大沼 惇義  
(7 期目)

# 健康、子育て支援に重点

一般会計 98億9,000万円でスタート



新年度スタート(船迫小学校入学式)

平成21年度当初予算は、懸案となっていた船岡中学校体育館の建て替えの設計予算をはじめ乳幼児医療費助成制度の拡充など健康・子育てに重点をおいた予算となりました。

予算に対する総括質疑では、不況の影響

を懸念して町の税収減が問題となりました。また暫定図書館設置をめぐる議論となり、当初予算は成立しましたが、より慎重な取り組みを求めた附帯決議が議員提案され可決しました。

## 平成21年度 各種会計予算

会計別	平成21年度当初予算額	平成20年度当初予算額	対前年比	
一般会計	98億9,111万円	97億7,494万円	1.2%	
特別会計	国民健康保険事業	34億7,911万円	35億4,358万円	△1.8%
	老人保健	(※) 183万円	3億1,978万円	△99.4%
	公共下水道事業	16億1,258万円	16億7,066万円	△3.5%
	介護保険	17億4,603万円	17億3,150万円	0.8%
	後期高齢者医療	2億6,101万円	2億6,064万円	0.1%
水道事業会計	17億635万円	17億3,553万円	△1.7%	
計	186億9,805万円	190億3,666万円	△1.8%	

※後期高齢者医療への移行に伴う清算経費のみ

### 一般会計 討論

#### 反対討論

広沢 真議員

臨時職員の雇用や、無料妊婦健診を14回に拡充したこと、乳幼児医療費の対象を5歳まで拡充するなど施策は評価する。しかし、学校耐震化など安心安全を図る事業の優先度は考慮されなければならない。

#### 賛成討論

我妻 弘国議員

歳入は、不況による地方税の減や交付金の縮小傾向を踏まえた内容で、国県補助金、地方交付税も過大に見ず、対前年比1.2%増にとどめている。財政再建プランに基づき事業を見直し、効果的に運営する努力が伺える。

## 21年度当初予算を可決

# 学校耐震化事業に着手

### 図書館設置で意見分かれる

### 図書館設置で 附帯決議を可決

#### 21年度一般会計予算に対する附帯決議

既存の生涯学習施設を活用した暫定図書館の設置に関し、公募町民と行政職員23人からなる「まちの図書館設置検討会」の報告に基づき平成21年度に取り組むこととして、本予算案に関連予算1千533万2千円を計上している。一たん設置されれば、翌年度からこの維持・管理経費は経常経費となるものであり、厳しい財政状況にあつて、多くの町民への痛みと負担を伴った再建プランに取り組んでいる本町にとっては、決して少ない金額ではない。よって、暫定図書館の設置に当たっては、慎重にも慎重を期すことが必要であり、予算の執行は、その必要性を町民に十分説明するとともに、議会、関係団体と十分な協議を行うべきである。

#### 反対討論

白内恵美子 議員

行政が住民の長年の願いにこたえるため、平成22年度開館に向け4月から準備に入ろうとしている。議会は後押しすべきで、予算執行に足かせをはめるような附帯決議は、住民のマイナスにしかない。

#### 賛成討論

百々 喜明 議員

全員協議会で予算化される話を聞いたのがことしの1月後半。2月初めに予算書の具体的な数字を見た。特に新規事業でもあり町民への十分な説明が必要で、慎重に事を進めるべきではないか。

### 平成21年度に新たに行われる主な事業



建て替えに着手する船岡中学校体育館

船岡中学校体育館建て替え調査・設計事業	21年度中に調査・実施設計などを行い、22年度に建設に着手する。 〔事業費 552万円〕
乳幼児医療費無料制度の拡充	助成対象を5歳児まで拡充する。 〔事業費 3,290万円〕 ※昨年より425万円増額
妊婦健康診査の公費負担回数の拡充	5回までだった妊婦健診の無料制度を14回まで拡充する。 (拡充分の補正予算は4月1日の臨時議会で可決) 〔事業費 3,559万円〕 ※昨年より1,838万円増額
肺炎球菌予防接種への助成事業	高齢者の肺炎の50%は肺炎球菌が原因といわれており高齢者の肺炎予防のため、助成対象を65歳以上のすべての町民対象に拡大する。 〔事業費 629万円〕
神山前町営住宅耐震診断事業	神山前町営住宅の耐震診断を行う。 〔事業費 834万円〕
洪水ハザードマップ作成	洪水が起きたときの浸水の情報や避難の方法などの情報をマップにし、町民に提供する。 〔事業費 520万円〕

問 通学路の安全確保を

- (1) 小中学校の通学路は、子ども見守り隊などの活動で安全が守られているが、交通標識、道路幅員、側溝等の整備も急ぐべきである。
- (2) 小中学生の学力向上は、基礎学習の定着を図り、成績に自信を持てるようにすべきである。
- (3) 町民税の徴収は、不況のため例年以上に難しいが、納税者との話し合いを進め、徴収の成果を上げてほしい。
- (4) 町は地域防災計画の作成を急ぎ、地域の状況に応じた防災訓練を実施して、災害弱者の救援に備えるべきでは。

答 歩道などの整備で安全を確保する

- (1) 歩道や側溝が整備されていない通学路は、順次整備していく。
- (2) 学力向上のため学習指導方法を工夫改善し、わかる授業の実践や家庭での生活習慣、学習習慣の改善に努める。
- (3) 町民税の徴収は困難が予想される。納税相談や分割納税を図り、滞納処分も実施する。
- (4) 町の地域防災計画は今年度完成する。また、すでに多くの行政区では自主防災組織が結成され、避難訓練や初期消火訓練などを実施している。



太田研光 議員

総括質疑

問 さらになる財政再建策を考えているのか

- (1) 財政再建プランは3年目に入る。世界的な金融危機と景気の低迷で、さらなる再建プランを考えているのか。
- (2) 金融危機で倒産や雇用の削減がおきている。町内の失業者対策は考えているのか。
- (3) 本町の人口減少を食い止める方策はあるのか。
- (4) 認定農業者の高齢化で、農地の管理が難しい。耕作放棄がないように農業法人化を進める考えはないか。
- (5) 学校図書室の充実を図ってはどうか。暫定図書館に毎年いくらの予算措置をして行くのか。

答 現在のプランで健全化を図っていく

- (1) 国の地方重視の施策もあり、新たなプランは考えていない。財政規律を緩めず健全化を図る。
- (2) 緊急雇用創出事業臨時特例交付金などを活用した事業を実施し、生活の安定を図る。
- (3) 内外に情報を発信し、だれもが住みたく
- なる町を目指していく。
- (4) 農業担い手の育成を図り、耕作放棄地対策は、農業関係機関と連携して対応していく。
- (5) 学校図書室が機能するように取り組む。暫定図書館は、初年度1千533万円、22年度から550万7千円と見込んでいる。



星 吉郎 議員

問 不況で税収は下がるのか

- (1) 景気動向を考えると21年度予算の税収を下方修正する必要はないのか。
- (2) 町にとって必要な予算の増額を国に対して求めていく考えはあるか。
- (3) 国の定住自立圏構想は地方自治体のリスクは地方自治体のリスクは下がるのか。
- (4) 町内の経済対策で町内業者に光をあて、商店街の機能充実の施策、建設需要を生み出すため住宅リフォーム助成制度、小規模工事希望者登録制度の導入は考えているか。

答 不況の影響は来年度から

- (1) 今年度は固定資産税の減額だけで景気による所得減の影響は来年度から出てくる。
- (2) 国に対し地方交付税の増額と、三位一体改革前への復元、道路特定財源の一般財源化などを強く求めていく。
- (3) 地方分権の理念による東京への人口流出防止、地方への人の流れをつくる支援策と考える。
- (4) 地域内での資金循環を考えるが、住宅リフォーム助成制度は先進事例を検証していく。小規模工事希望者登録制度の導入は考えていない。



広沢 真 議員

総括質疑

### 問 保育ママ制度の導入は

- (1) 子育てに夢と希望を持ちながら働くためには安心して子どもを預けられる場所が必要。県が来年度保育ママ制度を予算化したのが、町はどのような計画で導入するのか。
- (2) 地域福祉センターを利用した高齢者の自立支援事業は、引きこもりの解消、心身機能の維持に有効。高齢者が元気で毎日を過ごせるよう通所施設を槻木、船岡にも設置できないか。
- (3) 槻木児童クラブの児童数は国のガイドラインすれすれの状況である。分割する考えはないか。

### 答 実施に向けて県と協議する

- (1) 保護者の意見をもとに実施に向けて県と協議する。子育てを支援するNPOが事業展開するので連携していく。
- (2) 町事業として「はるかぜ」「いこいの日」、民間では、船岡に「あおぞらいきいき教室」、槻木に「げんきサロン」
- (3) 現在、定員60名に対し63名の申込みがあり、入所の可否について審査中である。実施場所は安全面から校舎内が望ましく、教育委員会と協議していく。



森 淑子 議員

総括質疑

### 問 なぜ「暫定」図書館なのか

- (1) 豊かな未来に向かって地域のシンボリック図書館を期待している。暫定図書館というのは紛らわしいのでやめて、新たに堂々と図書館建設に向けた方策と予算の組み替えをした方がよいのではないか。
- (2) 町長は、独自の立場から活力ある町を創つたと胸を張って言えるのか。地域の発展は自助努力と、新たに堂々と図書館建設に向けた方策と予算の組み替えをした方がよいのではないか。

### 答 本格的な図書館建設の見込みは立っていない

- (1) 図書館は情報交流を活発にし、新たな都市づくりの標準装備として必要なものである。できるなら本格的な図書館を建設したいと思う。しかし今後、槻木中・船岡中建て替えの大型事業を控えており、本格的な図書館建設の見込みは立っていない。まず暫定図書館をスタートさせ、本格的な図書館につなげていく。
- (2) これまでの政策を町民から評価してもらっていると考え。厳しい状況をやりくりしながら、温かい政策をしてきたつもりである。



加茂紀代子 議員

総括質疑

### 問 側近政治や行政の私物化が心配

- (1) 町長は、議会の議決を住民の声と違うと言っている。自分の意に添わない声を認めないならば、それはやがて側近政治となり、行政の私物化となりはしないか。
- (2) 図書館の開館準備をすすっているといるが、
- 過日のNHK全国放送で、柴田町は保育料等の値上げで子育ての負担が増えているのに、サービスが削られ、子育てがしにくい町と紹介されていた。今、急ぐべきは図書館ではなく、子育てや老後の安心政策ではないか。

### 答 今後とも議会制民主主義を基本とする

- (1) 町政の運営に当たっては、言葉に責任を持ち、住民の信頼を損なわないよう努め、今後とも議会制民主主義を基本として行政運営に努める。
- (2) マスコミ報道に対する懸念については、1時間もの取材を受け
- た中からほんの一部が報道され、誤解を生んでいるが、今年度も国からの特別交付金で学校の補修工事を行っていく。
- また、子どもたちの学力向上や老後の潤いある生活をする上でも図書館の準備は進めていきたい。



杉本五郎 議員

予算審査特別委員会

あなたの税金

どのように使われるか?

2月24日に予算審査特別委員会を設置し、21年度の一般会計、特別会計及び水道事業会計について審議を行い、全ての会計が原案どおり可決され、2月26日に終了しました。

質疑、答弁の内容を一部紹介します。

歳入

国の景気対策は

**質疑** 国の第2次補正予算対応の事業で、県で基金をつくって行う事業は。

**答弁** 定額給付金と地域活性化生活対策臨時交付金、そして子育て応援特別手当については補正予算で計上した。

その他に、安心こども基金、ふるさと雇用再生特別交付金、緊急雇用創出事業交付金、妊婦健康診査支援基金、介護従事者処遇改善臨時特例交付金、障害者自立支援対策臨時特例交付金、地方消費者行政活性化基金があり、今後補正していく。

幼稚園就園奨励費が増えているのはなぜ

**質疑** 幼稚園就園奨励費補助金が大幅に増えている理由は何か。

入

**答弁** 保護者の負担軽減を図るために、補助額が引き上げられた。町民税非課税世帯は、14万6千200円から15万5千円となり、8千800円の増額。町民税所得割の税額が18万3千円以下の場合、5万9千200円から6万2千800円となり、3千600円の増額となる。

保育所の一時保育について

**質疑** 保育対策等促進事業費補助金の中に一時保育とあるが、この内容と現状は。

**答弁** 一時保育とは、保護者がケガ、災害、事故で入院したときなど、ある一定の保育ができない場合、保育所で保育をする事業である。現在、スペース上の問題があり、船岡保育所と西船迫保育所の2カ所で行っている。

駅コミュニティプラザ利用を増やすには

**質疑** 駅コミュニティプラザの使用については、物品販売ができないことで非常に使い勝手が悪いと昨年も指摘があった。利用方法について何か改善したか。

**答弁** 請願駅ということで規制がある。施設の利用は、あくまでも公共使用が主な目的となっている。

行政サービスを制限した実例は

**質疑** 町税の滞納に対する行政サービスを制限する条例を施行してから、実際に行政サービスを制限した実例はどのくらいあるか。

**答弁** 20年度はまとまっていない。19年度では個人が65人、法人9社の滞納確認照会があり回答した。ほぼ納期内完納という結果となり、制限した実例はなかった。

資源回収にどう取り組み

**質疑** 今後資源回収は継続していくのか。

**答弁** 紙資源回収払料は、紙類の単価が下がってきており、当初予算より減少する見込み。しかし、リサイクルの意識を浸透させることが目的なので、今後も資源回収をふやしていきたい。



もっと活用したい駅コミュニティプラザ(船岡駅)



歳

出

## 図書館設置を どうするか

**質疑** 図書館をつくることは、町の10年間の待機事業に一切入っていない。今後ハコモノを計画しているのか。

また、図書館ができることは評価できるが、現状の事業の中で優先順位の問題がある。学校施設の耐震問題や命と暮らしを守るという点での考えは。



図書館設置が計画されている「ふるさと文化伝承館」

**答弁** 現在の財政状況を考えれば、本格図書館がつけられるまで待つべきだが、図書館検討会のまとめにもあるように、まず、小さくても図書館機能を持たせたものをつくり、町民の声にこたえるべきと考えている。

学校整備優先としながらも、小さな機能を充実したミニ図書館のものをお願いしている。財政状況が好転したら、学校問題が最重要と考えている。

## 公共施設耐震 診断箇所は

**質疑** 21年度に公共施設耐震診断委託を実施する施設はどこか。

**答弁** 役場庁舎、槻木事務所、太陽の村、給食センター、むつみ学園の5施設を予定している。

## むつみ学園 移転できないか

**質疑** むつみ学園の耐震診断は必要あるのか。ほかの施設に移転した方がよいのではないか。

**答弁** むつみ学園の建物は国から借りている施設なので、改築計画がまだ具体的になっていない。やはり補強も含めて耐震診断はやらざるを得ない。構成している市町と連絡をとりながら、町の既存の施設に移設できるか21年度中に決定する方針である。



老朽化が著しい「むつみ学園」

## スクールゾーン内の 危険ブロック塀対策は

**質疑** スクールゾーン内の危険と思われるブロック塀は、どのくらい補強されているのか。

**答弁** 平成15年度から20年度までの実績で、61カ所については除去が終わった。ただし、危険箇所はまだまだある状況なので、県の担当者と定期的に巡回したうえで、危険箇所については勧告をしながら、助成があることも説明して安全対策に努めていきたい。

## 町の公用車 リースにできないか

**質疑** 今後公用車を購入する場合、リースに切り替える考えはあるか。

**答弁** 今年2台の軽貨物自動車リースする。できるだけガソリン節約のために切り替えて、リースの方向で対応していく。

## 柴田斎苑の 建て替えは

**質疑** 柴田斎苑の建設計画はどうなっているか。

**答弁** 現在、仙南広域の衛生施設建設計画の中で計画している。柴田斎苑が築後40年、白石斎苑が35年経過しており、両施設を現在地に建て替える計画。両施設とも22年度から24年度までには建設して、使用開始は25年度となる見込み。



建て替えが待たれる柴田斎苑

## 西住児童クラブ スタートはいつ

**質疑** 西住児童クラブの立ち上げのスケジュールは。

**答弁** 平成22年4月のスタートに向け、21年度に準備を行う。西住公民館を想定して教育委員会と調整している。また、町民への説明会は、補助申請の結果を受けながらの計画であるため、7月までには行いたいと考えている。

## 消火栓の 設置基準は

**質疑** 消火栓の設置基準は町独自で決めているのか。

**答弁** 市街地かどうかで若干違うが、消防法的には、その場所からおおむね半径120mの円内に1カ所あればいいことになっている。

# 基本条例を否決

## 賛否で討論の応酬

2月定例会では、まちづくりの基本ルールを規定した柴田町住民自治によるまちづくり基本条例案を審議しました。

この条例案は議会の権限や住民投票

制度で意見が分かれ、多くの質疑や10人にも及ぶ討論が出されるなど活発な議論が交わされましたが、採決の結果、賛成少数で否決されました。

### 反対討論

太田 研光 議員

現在、町は合併するかもしれないかの協議中であり、見通しのついた時点で条例を提案すべきだ。また、住民の自治意識も低く大部分の人たちは関心もない。今、協働のまちづくりを提案しても実現はおぼつかない。

### 反対討論

小丸 淳 議員

条例の制定は慎重を期さねばならない上に、住民自治はその根付く土壌があつてこそ育つものである。土壌づくりと啓蒙には相当な時間がかかる。機が熟した時期を見て条例化すべきで、現時点では時期尚早である。

### 反対討論

佐藤 輝雄 議員

今後3町合併協議会では、5月に住民説明会、7月に合併の是非を問う住民投票が行われる。なぜ5カ月を待たずに、今回本条例を提出するのか。町長個人の作為が感じられる。

### 賛成討論

森 淑子 議員

住民の価値観の多様化に伴い、地域の課題も複雑になっている。住民と行政の協働のまちづくりが求められており、その方法を明文化したものがこの条例で、柴田町を住みやすい町にするためにも必要である。

### 賛成討論

白内恵美子 議員

住民は柴田町の財産であり、住民こそがまちづくりの主役である。住民が積極的に参画するには、自治の基本的な考えと参加の方法を「条例」という形で明確にし、住民・議会・行政が共有することが必要である。

### 賛成討論

大坂 三男 議員

今回の条例制定は、住民がまちづくりに意欲を持って参加できる制度的保障をつくるものあり、分権時代を迎えて住民・行政・議会が一体となつてまちづくりを進めるためのルールや仕組みを定めたものである。

### 反対討論

杉本 五郎 議員

この条例案は二元代表制としての議会の権能を弱めかねない。特に住民投票制度は本来の議会制民主主義と相入れないもので、特殊な場合に限り議会の議決を経て行うべきもので常設型は論外である。

### 賛成討論

我妻 弘国 議員

町内会や旧来の地域住民意識の団体を新しいコミュニティに参加させるには、政策や仕組みが必要である。住民が参加しつくられたこの条例は問題解決に大いに力となり、住みやすいまちづくりができるものと信じる。

**質疑** この条例は、議会の権限を制限し危険である。住民自治とは特殊な場合を除き住民が直接政治に参加することではない。

ただ、年齢要件は今後議会と一緒に考えていきたい。

**答弁** この条例は、理念条例と実施条例の要素をかみ合わせており、人と人とのつながりを大切にすることで、議会の権限を制限するものではない。

**質疑** 条例案を議会として検討する時間が必要ではなかったか。

**答弁** この条例は、理念条例と実施条例の要素をかみ合わせており、人と人とのつながりを大切にすることで、議会の権限を制限するものではない。

**答弁** 今まで議会に対し検討委員会の報告もしており、また、議会でも何度も質問をいただいている。今後議会と一緒にこの条例を議論できれば大変ありがたい。

**質疑** この条例の中に住民投票制度が盛り込まれており、これは常設型の諮問型となっているが、その要件と対象はどう考えているか。

**答弁** 7月に合併の住民投票の可能性があるが、なぜ今この条例が必要なのか。

**答弁** 住民投票にかける案件は議会で審査している。

**答弁** 合併するしないにかかわらず必要な条例であると考えている。

2 月 定 例 会  
本 会 議 審 議

# まちづくり



現在も活動している住民自治基本条例をつくる会

賛成討論

広沢 真 議員

条例制定がまちづくりの終着点ではない。素案づくりの中で、まちづくりスペシャリストを生み出した役割が特に大きい。町民が参加した新たなまちづくりに大いに期待している。

賛成討論

水戸 義裕 議員

住民ニーズの多様化に対し、すべてを行政が行うのは難しい時代。この条例は町民・議会・町の役割を明記し、住民主体のまちづくりを目指すとした。また、見直しも規定し、社会変化にも対応できる点を評価する。

## 3 役 の 給 与 カ ッ ト を 財 源 に 臨 時 職 員 を 雇 用

平成 21 年 4 月 1 日 から 22 年 3 月 31 日 までの一年間、三役の給与を削減し、ワークシェアリングをします。(年間総額 205 万円)

区 分	町 長	副 町 長	教 育 長
給料月額	916,000 円	709,000 円	600,000 円
減 額 率	10%	7%	5%
減額後の給料月額	824,400 円	659,370 円	570,000 円

## 長 期 欠 席 議 員 報 酬 を 減 額 議 員 提 案 で 決 ま る

病気などで 180 日以上長期にわたり活動ができなくなった場合、その日数に応じて議員報酬月額を 20%、30%、40%の割合で減額します。

期末手当も同じ割合で減額します。

議会活動ができない期間	減額の割合
180 日以上 270 日未満	20 / 100
270 日以上 365 日未満	30 / 100
365 日以上	40 / 100

入 院	通 院	区 分
6 歳 未 満	4 歳 未 満	現 在
変 更 な し	5 歳 未 満	10 月 1 日 から

子育て支援策の一つとして、子どもたちの医療費が 5 歳まで無料になります。

乳幼児医療

**助成対象を拡大**  
5 歳 未 満 は 通 院 無 料



安心して子育てを(船岡保育所)

# 定額給付金、子育て応援事業など 景気対策中心に

平成20年度一般会計補正予算を可決

今回は、国民健康保険への繰出金や心身障害者、乳幼児医療費助成の増額のほか、各種事業費の精査を行っています。

また、地域経済対策関連予算として、国の補助金を財源とする定額給付金事業、子育て応援事業、地域活性化対策による道路整備や学校を含めた公共施設の改修事業など、景気対策中心の補正です。

## 体育施設の 利用減の理由は

**質疑** 保健体育施設使用料が減額になっているが、利用が減っているのか。

**答弁** 船岡体育館と柴田球場の利用が減っている。どちらも設備改修のため休館したことが要因。

**質疑** 入間田のテニスコートの利用状況はどうか。

**答弁** オープンして間もないことと郊外にあるという立地条件から利用がまだ少ない。

**質疑** テニスコートの使い勝手が悪いので利用しにくいという声があるが改善されたのか。

**答弁** 日曜祝日に当日申請して利用できないことが使い勝手の悪さにつながっている。今後検討し改善していく。

## 船岡西排水ポンプ 設置工事費減はなぜ

**質疑** 船岡西排水ポンプ設置工事費が減額されているがなぜか。12月補正後に工事内容に変更があったのか。

**答弁** 業者から見積もりをとった時点で、予定した金額よりも安く済んだため減額補正したもので、工事内容に変更はない。



工事が始まった船岡西2丁目

## 定額給付金事業

定額給付金〔事業費 6億1,126万円〕

## 子育て応援事業

子育て応援特別手当〔事業費 2,412万円〕

## 地域活性化・生活対策臨時交付金事業

No.	事業名	事業費	内容
1	地区集会所改修事業	300万円	10区集会所、中名生集会所
2	四日市場地区治山排水路改修事業	370万円	四日市場丸山沢地区、下山根地区
3	農業用水利改修事業	686万円	祇園田水門、上川名小倉下ため池
4	町道維持改良事業	3,745万円	入間田14号線、下名生8号線、上名生3号線ほか
5	排水路安全対策事業	550万円	南浦排水路、稲荷山用水路
6	児童遊園遊具改修事業	180万円	上名生新宮前児童遊園、南浦公園
7	駅自由通路補修事業	297万円	船岡駅
8	小中学校老朽危険施設改修事業	1,781万円	船迫中バックネット、槻木小プール、西住小プール、船岡中学校内放送設備、槻木中サッカーゴールほか
9	生涯学習施設老朽施設改修事業	298万円	農村環境改善センター、しばたの郷土館
10	柴田球場改修事業	488万円	観覧席ベンチ、フェンス、階段ほか

# 「西住児童館存続に関する請願」を採択

## 委員長報告書(要旨)

文教厚生常任委員会では、執行部の説明を聴取するなど慎重に審査した結果、次の理由により「採択すべきもの」と決した。

- 1 財政再建プランにある幼児保育型児童館の「廃止」のみに取り組んでおり、「幼稚園化」への取り組みが認められないこと。
- 2 町の今後の子育て支援の方向を明確にし、保育ママ制度、ファミリーサポートセンターについても具体的に検討する必要があるが、それらの具体的施策が示されていないこと。
- 3 ほかに廃止対象となっている柴田児童館と三名生児童館の取り扱いが示されていないこと。
- 4 地区住民や児童の保護者への説明が不十分と思われること。
- 5 保護者の目の届くところで教育を受けさせたいという要望があり、地域住民も子育てに関しサポートしようという熱意を有すると認められること。
- 6 廃止による保育経費の増加により、幼児保育を受けられない子どもが出てくるおそれがあること。

**質疑** 文教厚生常任委員会で請願を受けた後、直接、西住児童館の保護者の方との話し合いは行ったのか。話し合いをしたのであれば、その内容を聞かせてほしい。

**答弁** 委員会としては、地域の人を呼んで意見を聴取するということはしていない。

委員長報告は、委員会

の総意をまとめたもので、個々のことについては答えられない。

**質疑** 西住児童館の廃止に関し、地区住民や児童の保護者への説明が不十分であるとの委員会報告が出ているが、説明会は何回行われて、どのような説明をしたのか。

**答弁** 委員会は、付託された内容をもとに資料を

収集している。もちろん個別に会ったりしているが、審査した結果を委員会として責任を持って報告している。

平成20年12月定例会で文教厚生常任委員会に付託した西住児童館存続に関する請願について、委員長から「採択すべきもの」とする報告があり、本会議で審議した結果、委員長報告のとおり採択しました。

請願が採択された西住児童館



## 人事案件

○固定資産評価審査委員の選任(新任)



井上武夫氏  
(槻木駅西二丁目)

この責務を、誠心誠意務める所存でございますので、皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

○人権擁護委員の推薦に同意(新任)

佐久間捷哉氏  
(西船迫二丁目)

木島基子氏  
(西船迫二丁目)

# 一般質問

ズバリ



あなたにかわって

## ここが聞きたい

Q & A



一般質問は2月17日と18日の2日間で行われ、9人の議員が質問しました。  
質問と答弁の内容について、その一部を掲載します。  
答弁者は、滝口町長、阿部教育長及び各担当課長等です。



太田研光 議員

**Q** 小中学校の  
学力は  
向上しているか

**A** 小学校は全国平均と同じ。  
中学生はやや下回っている



学力向上に工夫(西住小学校)

昨今の経済の不況は厳しいものがある。このよ  
うな時代だからこそ、次  
世代の若い人たちの教育  
に力を入れるべきではな  
いかと思う。町の小中学  
校の基礎教育を考えてみ  
ると、学力向上に関して  
多くの疑問がある。

**問** 全国学力状況調査の  
成果について公表は考え  
ているのか。

**答** 全国学力調査の町内  
小中学校ごとの成績公表  
は、現時点では考えてい  
ない。公表することです、

保護者、地域の関心が市  
町村や学校間の序列や優  
劣、過度の競争が生じる  
おそれなど、本来の目的  
が失われるためである。

**問** 昨年度の全国学力調  
査成績は向上したのか。

**答** 学力調査の結果は、  
小学校の平均正答率が全  
国平均、県平均とほぼ同  
程度であるが、中学校は  
やや下回っているので、  
一層、国語と算数、数学  
の指導強化に努めたい。

**問** 学力向上に向けた保  
護者の協力などの成果は

どうなっているのか。

**答** 各小中学校で現在、  
児童生徒の家庭における  
学習習慣の定着を重点的  
に取り組んでいる。

**問** 携帯電話に対する小  
中学校の指導は。

**答** 町内3中学校では、  
既に学校への電話持ち込  
みを原則禁止している。  
各学校では危機意識を  
持って指導対策を実施し  
ている。



我妻弘国 議員

**Q** 地域振興券発行が報道されていたが

**A** 総額1億2千万円の振興券を発行して、地域経済の活性化を図る



町内で買物を

**問** 地域振興券発行の報道がされていたが。

**答** 商工会が主体となつて商工会、榎木事務所で販売を予定している。

**問** 割り増しの割合は。

**答** 2割増しで、町が1千500万円、商工会が500万円の元金を出す。2千万円はプレミアム分である。

**問** 振興券が使える店はどのような店か。大型スーパーでも使えるようにするののか。

**答** 基本的には商工会の会員だが、町に本店があ

る店も考えている。

**問** 年が明けても厳しい経済状況だが、つなぎ資金に心配はないのか。融資限度額を増やすことは考えていないのか。

**答** 限度額を増やすことは考えていないが、引き続きセーフティネット保証制度で対応する。

**問** ワークシェアリング事業はどのように対応するののか。

**答** 窓口で簡単な手続をし、3月中旬まで募集する。4月2日から働ける

ように配慮していく。

**問** 公共事業の前倒しは考えていないのか。

**答** 8千万円の事業を4月頃発注できるように取り組む。



白内恵美子 議員

**Q** 子どもの読書活動を推進するには

**A** 全ての子どもが読書のできる環境づくりが必要



利用しやすい図書館をめざして

**問** 「子どもの読書活動推進に関する基本的な計画」をどのように受け止めているか。

**答** 子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにし、自立して生きる力をつける上で不可欠。すべての子どもが、あらゆる機会に、あらゆる場所において、自主的に読書活動ができる環境づくりが必要だ。

**問** 国の「5カ年計画」による地方財政措置を活用し、図書購入費の予算化を図っているか。

**答** 平成20年度の予算措置率は小学校で61・2割、中学校で48割。21年度以降は国が措置する図書費に近づけるよう努める。

**問** 学校図書館はいつでも開館しているか。

**答** 各小中学校とも昼休みは開館している。他の時間帯は朝に開館しているのが小学校1校、放課後の開館は小学校1校。

**問** 緊急雇用創出事業で採用する補助職員を、学

校図書館に配置すべき。

**答** 教員補助員には、各学校で教員の補助・図書の整理・読書の推進・スポーツの支援に当たってもらう。

**問** 学校図書館の充実には、公共図書館の支援がぜひ必要。町立図書館開館までのスケジュールは。

**答** 4月から準備にかかり、検討会や公募町民の方々の協力をいただき、スタッフを整え、平成22年の春には開館したい。



大坂三男 議員

**Q** 通学路の見直しと改善を

**A** 「通学路点検」に基づき、可能な限り改善する



通学路の安全確保が急務

**問** 学校の侵入対策、登下校時の交通安全対策や防犯対策についての取り組みは。

**答** 学校の安全対策としては「町立学校の危機管理マニュアル」によって各学校が防災計画を策定し、地震、火災、不審者侵入などに適切な対応を行うよう細部にわたり定めている。

通学時の安全対策としては、学区ごとに組織された子ども見守り隊や、交通指導隊などを通して

事件や事故の防止に努めている。

**問** 通学路の指定基準は、学校の教職員が実地調査を行い、交通量、交通安全施設の整備状況、危険箇所の有無、防犯上の安全性などを確認し、警察や道路管理者、地域の関係者などの意見をいただきながら指定している。

**問** 通学路に指定されている町道四日市場25号線は幅員が狭いうえ歩道がなく、交通安全上危険な

状態である。行政区から歩道を確保してほしいと何回も要望書が出ているがどう対処するのか。

**答** 警察の指導では、五間堀わきの耕作道路を経て歩道付きの富上幹線道路を利用すれば安全との見解であった。しかし、川沿いで道路も悪く、人目につかないことから防犯上の問題もあり、地域の要望に沿って25号線の歩道確保に向けて整備計画を立てて実施していく。



水戸義裕 議員

**Q** 自治体間競争に対する施策は

**A** まずは健全な財政運営が必要



にぎわいのあるまちづくりを

**問** 人口減少、低経済状況下で人口の確保や企業誘致をめぐる自治体間で互いに競争する関係の中で、従来方式では自治体間競争に勝ち抜けない。町の考え方と施策を伺う。

**答** 競争に勝ち抜くには健全な財政運営が重要。そして何よりも均斉のとれた人口構成がなされていることが大きな要素である。健康づくり、産業政策、子育て支援と、住民がまちづくりに参加するという力を結集すれば

自立戦略は可能と考える。**問** ふるさと納税制度は納めたい町を選べる制度で、まさに競争そのものと考えられる。納めたい町になることが重要だ。納税者に対し特典を設けている市町村もある。町の考えはどうか。

**答** 本町では、納税者に桜の写真のポストカードと礼状を送る。納税者への特典によって寄附額が違ってきているが、桜まつりだけでなく、納めたくなる事業の追加と進化

が必要だと考える。**問** 自治体間競争に危機感を持った先進地では、自治体シンクタンクを設置している。これに関して町の考えはどうか。**答** 職員の政策レベルは大分上がっている。もっと研修に参加させたい。地方自治体で常設のシンクタンクを持つのは難しいので、いろいろなネットワークを組んでシンクタンク的な機能を充実させたい。





森 淑子 議員

Q さらに  
ごみ削減を

A 町民・商店・企業と一体となって  
削減を推進する



大河原衛生センター

**問** マイバック持参運動の成果はあったのか。

**答** 町内88店舗の参加を得て実施した。約28・5%の方がマイバック持参で買い物をされ、一昨年を10%上回る結果となった。

**問** レジ袋有料化を進めてはどうか。

**答** レジ袋有料化の動きは全国的にも定着しつつあり、消費者の意識も確実に変化してきている。県内では、19年6月から仙台市の一部地域でレジ

袋削減の取り組みが開始され、段階的に参加店舗を増やしている。本町では仙南の他市町に先駆けて「みやぎレジ袋使用削減取組協定」に参加する。

**問** ごみ削減のための取り組みは。

**答** ごみの減量化には出す人の意識改革が必要。引き続き「もったいない運動町民会議」や各行政区長の協力を得ながらごみ減量運動を展開する。

**問** プラスチックのリサイクル施設整備はどこま

で進んでいるか。

**答** 仙南2市7町で、3億円程度の施設になり、23年度稼働の予定である。

**問** プラスチックを分別すると燃えるごみの量は大幅に減るのではないかと、そうすると、(仮称)仙南クリーンセンターの規模はもつと小さくても間に合うのではないか。

**答** どれだけ減るのか、機種を選定も含めて今後具体的に詰めていく。今はまだ回答できない。



広沢 真 議員

Q 3町合併にともなう  
メリット・デメリットは

A 正副会長会議、合併協議会で  
検証を求めていく



優先度が高い中学校の建て替え(槻木中学校)

**問** 柴田町・村田町・大河原町3町合併協議会が計5回開催されても「村田の借金を背負うのか」「財政が悪くなるのか」など町民の不安の声が絶えない。

**答** 合併協議会は不安の声にこたえる義務があると考える。副会長の町長に伺う。

**問** 財政シミュレーションの提出を求めるのか。

**答** 正副会長会議で公開を求めていく。

**問** 急がれている中学校

の耐震化事業など待機事業は、合併したらどうなるのか。

**答** 合併しなければ船岡中学校の体育館建て替えは来年行うが、合併したら、毎年5千万円ずつ積み立てている学校建て替え基金は共有資産になり、柴田町優先に使われるとは限らない。また、他の待機事業も優先的に行われる保証はない。

**問** 県南中核病院の負担金やごみ処理施設の建て替え負担金など合併に

よって地方交付税が大幅に減額される中、合併市で負担は可能なのか。

**答** 合併してもしなくても、県南中核病院の施設の更新やごみ焼却施設の新設など、広域行政の費用の負担増は構成市町の財政を圧迫することが懸念されている。新市の財政シミュレーションでも負担増を見込んで検証することを求めていきたい。



有賀光子 議員

**Q** 妊婦健診の拡大を

**A** 21年4月から14回に拡充



安心して妊婦健診が受けられるようになりました

**問** 20年10月30日、新たな生活対策に関する政府与党会議において、妊婦健診無料の回数をこれまでの5回から14回にする旨が決定された。本町でも1月30日の議員全員協議会で10回ないし14回を検討し、増やす方向だと説明された。

**答** 20年度から5回に拡充

充し、子育て世代への経済的負担の軽減を図ってきている。

22年度までの間、国が2分の1、地方自治体が2分の1の支援を行う「妊婦健康診査の公費負担の拡充」が国の20年度第2次補正予算で成立した。これを受け、本町でも妊婦の健康管理の拡充及び経済的負担の軽減を図るため、安心して妊娠・出産できる体制を確保することとした。

21年度から妊婦健康診

査の公費負担回数を5回から14回に拡充し、実施するための諸準備を進めている。

**問** ふるさと出産も対象になるのか。

**答** その旨で諸準備に入っている。

**問** 国では2カ年計画としているが、その後、町単独でもやっていくのか。

**答** その後も、町単独で14回やるつもりでいる。



佐藤輝雄 議員

**Q** 柴田町の質の高いコンパクトシティ構想は

**A** 船岡駅周辺、槻木駅周辺、他2カ所を調査研究する



東船岡駅周辺

**問** 本町は今日、財政健全化ができ、企業の進出等もあり、明るい兆しが見えてきたとして、町の広報などで質の高いコンパクトシティを目指すとしているが、町民へのサービスは落としっぱなし。町長の話の食い違いに町民のいらだちが見えているがどうか。

**答** 質の高いサービスとは、財政の効率や有効性を考えながら、他の自治体より一歩先に提供できるサービスである。コン

パクトシティは、船岡・槻木駅周辺と、大沼通線と新栄通線のクロスした周辺、北船岡周辺を考えている。町づくりの具体的構想はできていないが、22年度まで事例の調査や研究をしていく。

**問** 合併協議会が進むにつれて、議員特例など懸案事項が取り外され、ある程度の形が見えてきた。さらに、合併に対する考えの食い違いを取り除くと、あと合併反対の理由は何か。

**答** 前回と違い、今回は夕張市のような財政危機に陥ることがなくなったこと。合併した自治体で「合併してよかった」という声が聞こえてこないことなど、住民に夢や希望を与えるはずの合併が逆に財政の悪化や行政サービスの低下を招いている面が明らかになっており、たとえ、役場の位置が本町に来てても合併するつもりはない。

## 掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

### 我妻弘国 議員

**問** テニスコート利用者も使用する葛岡山公園トイレが冬季使用禁止となっている。再検討しては。

**答** 利用者と調整・協議をして、どのようにしたら良いのか検討する。

### 白内恵美子 議員

**問** 子どもの貧困率が急上昇している。貧困率を下げるためにどのような政策が必要か。

**答** 国の政策展開が必要。国や県に生活保護の適正化、雇用の拡大や安定化を強く働きかける。

**問** 3町合併のアンケート結果を、どのように分析しているか。

**答** 前回より合併に期待する住民が少ない。合併の必要性和住民の期待にずれがあり、新たなまちづくりはできないと思う。

### 有賀光子 議員

**問** 障害者専用スペースにハート・プラスマークを表示する考えは。

**答** 取り組んでいる自治体を参考にしながら、マークへの理解を広めていく。

**問** 資源リサイクルの促進のため、庁舎内に携帯電話専用回収ボックスの設置を。

**答** 町単独では難しいので、今後、国・県の動きを考慮しながら取り組む。

### 大坂三男 議員

**問** 遊具の更新を含め公園のあり方について、さまざまな要望が寄せられている。町の考えは。

**答** 総合スポーツ公園や家族全員で楽しめる公園、交通公園など新タイプの公園の検討が必要。

**問** 町民8,000人を対象にした合併アンケート結果が合併協議会で報告された。町長の見解は。

**答** 「合併効果はない」が前回の3倍になった。合併への期待が少なくなっていると認識した。

### 広沢 真 議員

**問** 景気対策、雇用対策で、ワークシェアリングや臨時職員を雇用する考えはあるか。

**答** ワークシェアリングで3人、緊急雇用対策で16人の臨時職員を雇用する予定。

### 佐藤輝雄 議員

**問** 耐震診断の危険度順位で槻木中学校、船岡中学校、船岡中学校体育館と建て替えをすべき。

**答** 地域の防災拠点である船岡中学校体育館が最初。次に槻木中学校、船岡中学校の建て替え順。

## 平成20年度の議会開催状況

平成20年度の議会は、定例会が4回(本会議25日)、臨時会が1回(本会議1日)開催されました。議会傍聴は442人で、開催日1日当たり17人でした。

区 分		会期日数	本会議の日数	休会日の委員会日数	その他の休会日数	傍聴者
定例会	20年第2回(6月)	7日	5日		2日	89人
	20年第3回(9月)	15日	7日	3日	5日	96人
	20年第4回(12月)	8日	6日		2日	38人
	21年第1回(2月)	15日	7日	3日	5日	163人
	計(4回)	45日	25日	6日	14日	386人
臨時会(1回)		1日	1日			56人
年間計(5回)		46日	26日	6日	14日	442人

# あなたの一言



高橋千尋さん  
(下名生剣塚)

## ●柴田町に住んで良かった点は

町で主催している講座を受け、趣味の幅を広げられたり、柴田町でかけがえのない友人を得ることができ、いつも周りの皆さんに励まされ、支えられて生活できることを幸福に感じています。

## ●柴田町で好きな風景は

雪を頂いた蔵王を背にした桜色に染まる船岡城址公園がとても美しく、思わず歓声を上げてしまいます。

## ●町に何を望みますか

地区の方だけでなく、ほかの地区の方々と交流を深められる行

事があればいいと思います。スポーツ都市宣言をしている町です。町民全体で楽しめる行事を望みます。

## ●議会だよりを読んでいますか

大きな項目を見て、興味のある内容のときは目を通します。

## ●議会、議員に望むことは

いろいろな年代の新議員が加わり、意見の幅も広がり、とても良いことだと思います。活気があり、明るく優しい町民のみんなが柴田町に住んで良かったと思える町にしたいだけのことです。

未来へ向けて



議会広報特別委員

わかりやすく、読みやすい紙面づくりを心がけ、2年間がんばります。

## ◆編集後記◆

新緑の季節、新入生の子どもたちも少しずつ新しい生活に慣れたころでしょうか。議会も4月に改選され、新しく選出された新人議員の最初の仕事が議会だよりの編集作業です。今回の議会だより編集委員会は、委員長以外すべて初当選の新人議員で構成しています。

前期の議会広報特別委員会とは違った個性、カラーを出せればなと思っています。

私自身初めて委員長という責任ある立場になり、町民のみなさんに読んでいただける議会だよりについて改めて考えを巡らせています。

わかりやすく簡潔に、しかし、読む人にはハッと目をとめてもらえる、そんな議会だよりを目指していきます。よろしくお願いいたします。

議会広報特別委員会 委員長 広沢 真

## ぜひ、議会の傍聴を!!

お待ちしております!

第2回定例会は

6月5日(金) 午前10時開催予定

一般質問は

6月8日(月)・9日(火)・10日(水)の予定

詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせ下さい。

## 町ホームページに議会会議録を掲載

議会会議録は町ホームページ内、「行政・まちづくり」の中の「町議会 議会だより」に掲載しています。



柴田町のホームページ

<http://www.town.shibata.miyagi.jp>